

申請番号

長野県原産地呼称管理制度「認定米」認定申請書〔継続〕

長野県原産地呼称管理委員会
米委員会委員長様

令和 年 月 日

申請者	法人名、団体名 (個人の方は記入不要)
	氏名(代表者氏名)
	住所 〒 —
	電話: — — FAX: — — E-mail アドレス: HP アドレス:
昨年度の申請番号	

長野県原産地呼称管理制度「認定米」認定要領第7第1項の規定により、次のとおり申請します。
なお、収穫乾燥後は栽培実績等報告書を速やかに提出します。

1 環境認証制度の取得状況

1) 信州の環境にやさしい農産物認証制度	認証: 有 (No. _____) ・ 無
2) 有機JAS	審査予定: 有 ・ 無

○信州の環境にやさしい農産物認証制度 (以下、「環境にやさしい農産物認証」という。)、または、有機JASのいずれかの認定を取得した場合は、認定米基準のうち「農薬制限」、「化学肥料制限」の基準を満たしたものとみなします。

- 「環境にやさしい農産物認証」を取得している場合: 「認証番号」を記入のうえ、認証申請書の写しを添付してください。
- 有機JAS審査を受ける場合: 実績報告時に、有機JAS認定書の写しを提出してください。

2 昨年度申請からの変更点

項目	変更	今年度申請内容	
1) 申請区分	有・無	品種 水系 栽培方法 (内容: _____) ・同一生産者が複数の申請を行う場合、申請を区分する項目を選択するとともに、栽培方法により区分する場合は具体的な内容を記入してください。	
2) 生産者名及び生産ほ場	生産者名	有・無	
	ほ場面積	有・無	合計 a (筆)
	ほ場地番	有・無	・ほ場の変更がある場合には、以下の書類を添付してください。 ①ほ場の地番と面積の一覧 (別紙1-1) ②ほ場位置図
	水系	有・無	
3) 認定品の商品名	有・無		

項目		変更	今年度申請内容
4) 栽培	米品種名	有・無	
	使用農薬	有・無	殺菌剤 () () 回 殺虫剤 () () 回 除草剤 () () 回 ・「環境にやさしい農産物認証」を取得、または、「有機 JAS」受審予定の場合は、記入不要です。
	施用肥料	有・無	基肥・追肥 () () kg・ml/10a 基肥・追肥 () () kg・ml/10a 基肥・追肥 () () kg・ml/10a 基肥・追肥 () () kg・ml/10a ・「環境にやさしい農産物認証」を取得、または、「有機 JAS」受審予定の場合は、記入不要です。
	土づくり資材	有・無	
	乾燥方法	有・無	自所乾燥 委託乾燥(委託先)
	5) 農産物検査 (予定)	検査場所 ^{※1}	有・無
検査日		有・無	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日
検査数量		有・無	玄米 kg
6) 総収穫量 (見込み)	申請予定 数量 ^{※2}	有・無	総量 kg(玄米換算)
	単収	有・無	単収 kg/10a (平年 kg/10a)
7) 保管	保管施設	有・無	施設形態 () 管理者 () 保冷設備 有(庫内温度: °C) ・ 無
	保管形態	有・無	もみ 玄米
8) 精米計画	精米場所	有・無	自所精米 委託精米(委託先:) 認定米販売事業者へ販売(販売先:)
	精米設備	有・無	精米機 石抜機 色彩選別機 シフタ(ふるい)
9) 販売計画	販売予定数	有・無	総量 () 精米 kg
	袋詰内容量	有・無	10kg 5kg 2kg その他 ()
	販売予定	有・無	直接販売 米穀販売業者へ販売 認定米販売事業者へ販売 その他 ()

○申請は同一生産者(個人・団体)で同一栽培方法ごととし、栽培方法が異なる場合は栽培方法ごとに別申請としてください。

○昨年度の申請書や参考に送付した申請者シートに記載されている昨年度の申請内容を確認して記入してください。
昨年度の申請内容から変更がない項目は「変更」欄のみの記入で構いませんが、変更した項目は申請内容をもれなく記入してください。

※1「検査予定場所」は登録検査機関名を記入してください。

※2「総収穫量(認定申請総量)」は、認定米として販売する量にかかわらず、申請ほ場から収穫される見込みの数量を記入してください。

3 添付書類

書 類		チェック欄
必ず添付	別紙 1 - 1 「生産者一覧」	<input type="checkbox"/>
	生産者ごとのほ場位置図	<input type="checkbox"/>
	別紙 1 - 2 「栽培計画」 ・環境にやさしい農産物認証を取得、または、有機 JAS に申請予定の場合は省略できます。	<input type="checkbox"/>
環境にやさしい農産物認証取得者のみ	今年度の認証の申請書（信州の環境にやさしい農産物生産計画書）の写し（コピー）	<input type="checkbox"/>
昨年度は環境にやさしい農産物認証を取得していたが、今年度は取得していない方	昨年度の認証の申請書（信州の環境にやさしい農産物生産計画書）の写し（コピー）	<input type="checkbox"/>

(別紙1-1)

長野県原産地呼称管理制度「認定米」生産者一覧

生産者番号 ・ 氏名		住 所	栽培ほ場所在地 (字名まで記入)	合計ほ場面積 (a)
1			(筆)	a (筆数: 筆)
			(筆)	
			(筆)	
2			(筆)	a (筆数: 筆)
			(筆)	
			(筆)	
3			(筆)	a (筆数: 筆)
			(筆)	
			(筆)	
4			(筆)	a (筆数: 筆)
			(筆)	
			(筆)	
5			(筆)	a (筆数: 筆)
			(筆)	
			(筆)	
6			(筆)	a (筆数: 筆)
			(筆)	
			(筆)	
7			(筆)	a (筆数: 筆)
			(筆)	
			(筆)	
8			(筆)	a (筆数: 筆)
			(筆)	
			(筆)	
合計			筆	a

添付書類：生産者ごとのほ場位置図

(ほ場位置図は、ほ場位置が特定できる縮尺で、申請ほ場一括または生産者ごとに作成してください)

○農業生産法人の場合は、代表者名のみ記入してください。

○記入欄が足りない場合は、本用紙をコピーして適宜増やして記入してください。

(別紙1-2)

長野県原産地呼称管理制度「認定米」栽培管理計画

○信州の環境にやさしい農産物認証制度の認定を取得、または、有機 JAS に申請予定の場合は、本様式は省略できます。

区 分		①	②	③	計	慣行	
農 薬 使 用	殺 菌 剤	農 薬 名					
		有効成分数					
		使用月日					
	殺 虫 剤	農 薬 名					
		有効成分数					
		使用月日					
	除 草 剤	農 薬 名					
		有効成分数					
		使用月日					
	有効成分数 計						1 2
その他の化学合成 農薬							
除草剤を使用しな い場合の除草方法							
土づくり資材等の使用		堆肥、土壌改良用資材の名称、施用量を記載					
肥 料 施 用	肥 料 名 等			窒素成分量		慣 行	
	基 肥	肥 料 名 :		窒素成分量 :	kg/10a		
		実施月日 :	/ ~ /	うち化学肥料 :	kg/10a		
		施 用 量 :	kg・ml/10a				
		窒素成分量 :	kg/10a				
	基 肥	肥 料 名 :		窒素成分量 :	kg/10a		
		実施月日 :	/ ~ /	うち化学肥料 :	kg/10a		
		施 用 量 :	kg・ml/10a				
窒素成分量 :		kg/10a					
基 肥	肥 料 名 :		窒素成分量 :	kg/10a			
	実施月日 :	/ ~ /	うち化学肥料 :	kg/10a			
	施 用 量 :	kg・ml/10a					
	窒素成分量 :	kg/10a					
基 肥	肥 料 名 :		窒素成分量 :	kg/10a			
	実施月日 :	/ ~ /	うち化学肥料 :	kg/10a			
	施 用 量 :	kg・ml/10a					
	窒素成分量 :	kg/10a					

肥料名等		窒素分量		慣行
肥料施用*	肥料名： 実施月日： / ~ / 施用量： kg・ml/10a	窒素分量： kg/10a	うち化学肥料： kg/10a	土壌区分： ア. 黒ボク土 イ. 非黒ボク土 れき質 ウ. 上記アイ以外 いずれかに○ ・慣行基準は、 上記アイの場合は 11kg / 10a、 上記 ウの場合は 9kg / 10a
	肥料名： 実施月日： / ~ / 施用量： kg・ml/10a	窒素分量： kg/10a	うち化学肥料： kg/10a	
	肥料名： 実施月日： / ~ / 施用量： kg・ml/10a	窒素分量： kg/10a	うち化学肥料： kg/10a	
	肥料名： 実施月日： / ~ / 施用量： kg・ml/10a	窒素分量： kg/10a	うち化学肥料： kg/10a	
	肥料名： 実施月日： / ~ / 施用量： kg・ml/10a	窒素分量： kg/10a	うち化学肥料： kg/10a	
基肥・追肥 合計		窒素分量： kg/10a	うち化学肥料： kg/10a	
その他 こだわりの 栽培方法等				

○ほ場が複数あって、ほ場により使用する農薬の種類や肥料の施用量が異なる場合は、成分数（施用量）が最も多いほ場の使用状況を記載してください。

○くみあい肥料ガイドブック（JA 全農長野編）に未記載の肥料については、パンフレット等、成分が分かる資料を添付してください。

○計画時に使用する農薬を特定できない場合は、使用する可能性のある農薬名を複数記載してください。（「○○、○○○のいずれか」と記載）

○直播栽培の場合に、植物調整剤（コーティング剤）の使用状況を「その他の化学合成農薬」欄に記載してください。

○記入欄が不足する場合は、適宜欄の追加または別紙にて整理してください。